

報道関係者各位

2011年1月14日

株式会社バイキューブ

代表取締役社長 間下直晃

担当：ソリューション本部 松井・和田

TEL: 03-5768-3308

～ タッチパネル操作で、だれでも簡単に使える Web 会議ソリューション ～
**バイキューブ、専用機型 Web 会議システムの
「V-CUBE センター」を 2010 年 12 月 20 日より出荷開始**

Web 会議やウェビナーをはじめとする「いつでも、どこでも、だれでも」使えるビジュアルコミュニケーションサービスを開発、提供する株式会社バイキューブ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長 間下直晃(ました なおあき))は 2010 年 12 月 20 日より「V-CUBE センター」の出荷を開始いたしました。

「V-CUBE センター」は、PC と Web 会議がひとつになった、全く新しい発想のソリューションサービスです。現在使用しているテレビ会議専用機との連携や、iPhone、Android®のようなスマートフォン、iPad に代表されるタブレット型コンピューターなど、様々なデバイスとも連携が可能です。

今回、導入していただいた東京工業大学の柿本 雅明教授(国立大学法人 東京工業大学大学院理工学研究科 有機・高分子物質専攻 教授 理学博士)は、下記の通り、「V-CUBE センター」への期待を寄せてくださっています。

【導入前の課題について教えてください】

- ・無料の peer to peer のサービスを使っていたのですが、それでは不十分で、特に資料を共有しての Web 会議ができない、ということが課題でした。

【導入の決め手は、どのようなことでしたか?】

- ・PC の電源を入れるだけで会議をはじめることができ、プレゼン資料を使って、複数人数とディスカッションができる、ということでした。
- ・また、高画質のため資料がとても見やすく、操作もタッチペンで直観的に行うことができるので、遠隔でのコミュニケーションが充実するのも決めてのひとつでした。

【導入後、課題は解決できそうですか?また、どんな結果を期待していますか?】

- ・色々なことが予想できますが、まずは、
「教授同士で資料を使って、臨場感のあるディスカッションが行える」
「自分が遠方にいるとき、あるいは学生が遠方にいるときに、遠隔ゼミを行える」
「海外にいるとき、あるいは海外の研究者などとの遠隔会議、コミュニケーションができる」
ということについて、効果が出ることです。・非常に使いやすいので、もっと色々な機能を試してみたいと思っています。

「V-CUBE センター」は、このように大学の研究室や今後の教育分野に対しての貢献を期待されています。当社では、本サービスについて、次年度は 300 社の導入と、3 億円の売上げを見込んでいます。

【V-CUBE センター 特設サイト】 <http://www.vcube.co.jp/service/centre/>

※「V-CUBE」は、株式会社バイキューブの登録商標です。

※本書面に記載されている会社名、製品およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。

【V-CUBE センターについて】



使用イメージ

■主な特長は以下の通りです

- ・電源を入れるだけで、すぐに利用できる。
- ・タッチパネルによる直感的な操作ができるため、だれでも簡単に利用できる。
- ・導入にかかる手間とコストが削減できる。
- ・専用 PC なので、セキュリティー性が高い。
- ・持ち運びができるので、会議室、自席、研修会場など、場所を選ばず利用可能。
- ・「V-CUBE センター」を持っていない第三者の PC も Web 会議に招待できる。

●コンセプト : 「タッチパネル操作でだれでも簡単に使える Web 会議」

●特設サイト : <http://www.vcube.co.jp/service/centre/>

●想定する利用シーン:

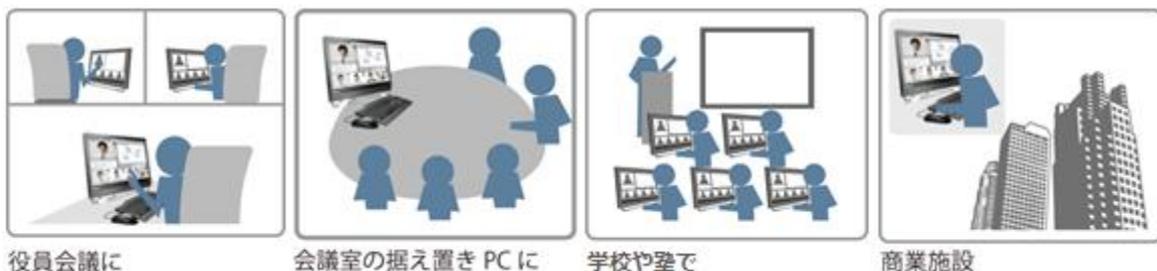
1) 学校や学習塾での授業

- ・離れた研究室同士での遠隔会議、海外とのやりとりなどがいつでも行える。
- ・毎回生徒が入れ変わる教室でも、常時設置しておくことで、電源を入れるだけですぐに授業が開始できる。
- ・PC のタッチパネルから、Web 会議上のホワイトボードにフリーハンドで書き込めるため、マウスやキーボード操作に時間をとられない。直観的な反応ができるため、学習のスピードが向上し、早期理解の促進にもつながる。

2) 企業での役員会議

- ・PC を会議室に設置し、会議画面をプロジェクタースクリーンや大型のモニターに投影することにより、テレビ会議専用機と同じ感覚で利用できる。
- ・テレビ会議専用機にはない、資料共有機能などをタッチパネルで操作することができる。

その他、企業での各種研修や商業施設などでの案内板としてなど、用途に応じて様々な利用が可能です。



●パッケージ内容

【ハードウェア】

- ・タッチパネル一体型 PC (Lenovo M90Z)

Lenovo M90Z の詳細はこちら

http://shopap.lenovo.com/jp/Landing_pages/info/10/m90z

- ・マイク (サンワサプライ MM-MCUSB16)

※オプション提供:YAMAHA PJP-20UR(エコーキャンセラーマイクスピーカー)

PJP-20UR の詳細はこちら

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/products/20ur/>

【V-CUBE ミーティング】

- ・「V-CUBE センター」専用アプリケーションをプリインストール
- ・「V-CUBE センター」の管理者は、自分が管理する会議室に参加者を招待することが可能
- ・初期費用及び2年間の月額金が付属します

●価格:オープン価格(詳細はお問い合わせください。)

※その他、本書面に記載されている会社名及び製品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

以上

【「V-CUBE」とは】

「V-CUBE」は、株式会社バイキューブが自社開発・販売・保守・運営するビジュアルコミュニケーションサービスです。1対1、1対n、n対nの各形態を網羅するリアルタイムコミュニケーションを、「いつでも」「どこでも」「だれでも」簡単に実現できることが最大の特徴です。

「V-CUBE」は、市販の Web カメラとヘッドセット、そしてインターネット環境さえあれば、世界中どこでも利用可能です。また、インストールや面倒な設定が不要で、導入に必要な専用機器もないため、だれでも簡単にご利用いただけます。ホワイトボードや資料共有・会議の録画など多彩な機能と、企業ユースに適した高度なセキュリティとを兼ね備え、24時間365日受付のサポート体制・操作説明会の開催など、導入後も安心です。

最近、出張費等のコストダウンを重要課題ととらえる企業が増えています。「コストダウン施策としての Web 会議」の注目度の高まりを受けて、Web 会議市場がますます拡大しているとともに、「V-CUBE」も順調に採用企業数を伸ばしています。

「V-CUBE」のラインナップには、業界シェア No.1*の Web 会議「V-CUBE ミーティング」、ウェビナー用で 10,000 拠点への同時配信も可能な「V-CUBE セミナー」、1対1のあらゆるシーンで密なコミュニケーションを実現する「V-CUBE セールス&サポート」、オンデマンドの企業紹介・商品紹介を実現する「V-CUBE ビデオ」、そして「V-CUBE」のコンテンツを一元管理する「V-CUBE ポータル」があります。



V-CUBE ミーティ



V-CUBE セミナ



V-CUBE セールス&サポー



V-CUBE ビ

※ 株式会社シードプランニング「テレビ会議/Web 会議の最新市場動向 2010」による。

【株式会社バイキューブ 会社概要】

- 商号 : 株式会社バイキューブ (V-cube, Inc.)
- 所在地 : 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー20F
- 代表者 : 間下 直晃 (ました なおあき)
- 創業 : 1998 年 10 月
- 資本金 : 428,888,000 円 (2010 年 4 月 12 日現在)
- 事業内容 : ビジュアルコミュニケーションツールの開発・販売
企業・教育機関などへのビジュアルコミュニケーションサービスの提供・システム構築
- URL : <http://www.vcube.co.jp/> (コーポレートサイト)
<http://www.nice2meet.us/> (「V-CUBE」サービス紹介サイト)
<http://xn--ddk0a0ez85mub7d.jp/> (「V-CUBE」を使ったソリューション紹介サイト)

【報道関係のお問い合わせ先】

- 株式会社バイキューブ ソリューション本部 広報・マーケティンググループ 担当 : 松井・和田
- TEL : 03-5768-3308 FAX : 03-5501-9676 E-mail : release@pj.vcube.co.jp

【当社及び「V-CUBE」についての一般からのお問い合わせ先】

- 株式会社バイキューブ TEL : 03-5768-3307 FAX : 03-5501-9676
- 「V-CUBE」サービス紹介サイト (<http://www.nice2meet.us/>) からもお問い合わせいただけます。